

平成30年度 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター 活動報告書



和歌山県
地域医療支援センター
CMSC
COMMUNITY MEDICAL SUPPORT CENTER

www.cmsc.jp



Contents

● はじめに	P 2
● 業務内容	P 3
● 年間スケジュール	P 4
● 医師不足状況等の把握・分析	P 8
・和歌山地域医療マネジメント研究会	
● 医師不足医療機関の支援、緊急時医師派遣・若手医師支援	P 9
・地域医療枠・県民医療枠医師配置	
・地域医療学講座・医師配置	
・地域医療機関医師適正配置検討委員会	
・遠隔医療支援システム	
・遠隔外来	
・遠隔講義聴講	
・和歌山県遠隔医療推進協議会	
・5 G (次世代の移動通信システム) 実証試験	
● 医師のキャリア形成支援、地域医療従事医師の養成	P 16
・A H A - B L S ヘルスケアプロバイダーコース	
・新入生説明会	
・J M E C C (内科救急・I C L S) 講習会	
・地域医療枠セミナー	
・和歌山県副知事表敬訪問	
・病院見学 (県民医療枠)	
・夏季合同研修 (地域医療枠)	
・和歌山県内専門研修プログラム合同説明会	
・キャリア形成計画 (ヒアリング)	
・紀伊半島地域医療連絡協議会	
・県民医療枠セミナー	
・医師臨床研修指導医講習会	
・県民医療枠研修	
・プライマリ・ケアセミナー	
・プライマリ・ケア勉強会	
・和歌山研修ネットワーク事務局の運営	
・選択制臨床実習の支援及びスキルスラボの充実	
● 情報発信と相談への対応	P 31
・高校訪問	
・オープンキャンパス	
・出前授業	
・地域医療学講義	
・報告書等の作成	
・ホームページ・Facebook の運用	
● 運営委員会	P 35
・運営委員会の開催	

はじめに

.....

平素より当センターの活動と地域医療枠・県民医療枠学生、研修医の教育にご高配を賜り、誠にありがとうございます。

当センターは、平成23年4月に和歌山県からの委託により和歌山県立医科大学内に設置され、本県の課題である医師の地域偏在及び診療科偏在の解消に向けて様々な取組を行っています。

卒業後9年間へき地医療拠点病院を中心に研修を行う「地域医療枠医師」、地域中核病院での研修を行う「県民医療枠医師」の1期生は医師5年目となり、県内医療機関で活躍するとともに、県内医療機関からの医師配置要望にも徐々に応えられる段階に入っています。

今後も県の医療計画に沿って、県、県内医療機関、県医師会および病院協会等との連携を密にしながら、地域医療の充実に向けてさらなる努力を行ってまいります。

その為には能力の高い医師を多く育てる必要があると考えています。能力が高い医師について私はよく山にたとえて話をしています。裾野は「人を診る力」と「病気を診断する力」にあたり、山頂は「病気を治療する専門医力」にあたります。裾野が広ければ広いほど、山頂も自ずと高くなります。私は富士山のような、広い裾野と高い山頂を持った、つまり、総合診療能力と高い専門知識、技量を持った医師を育成したいと思っています。

平成26年に構築した遠隔医療支援システム（インターネットを利用したテレビ会議システム）につきましては、県内診療所4箇所へ新たにシステム端末を設置するとともに、昨年度に引き続きNTTドコモ、和歌山県との協働で5G活用による遠隔診療に関する実証試験を実施しました。

また、平成30年度から始まりました新たな専門医制度につきましては、県内専門研修プログラム合同説明会を開催するとともに、ホームページ上に附属病院各診療科のプログラムを掲載するなど広報に努め、後期研修医の獲得に貢献しました。

今後も「地域の住民の皆さんが医療に困らないための仕組みづくり」に向け、地域の医療機関と連携しながら若手医師の育成と適正配置を進めていきたいと考えておりますので、皆様方のご支援、ご指導をお願い致します。



和歌山県立医科大学
地域医療支援センター
センター長・教授

上野 雅巳



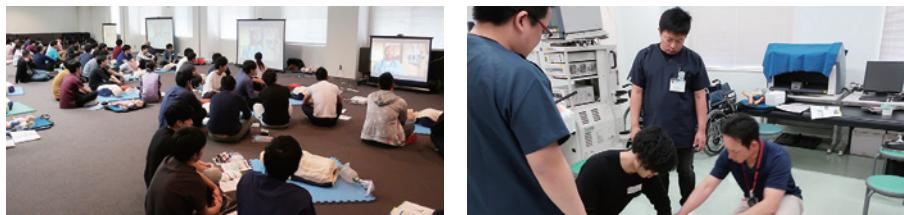
業務内容

- 医師不足状況等の把握・分析
- 和歌山地域医療マネジメント研究会の開催
- 医師不足医療機関の支援、
緊急時医師派遣・若手医師支援
(地域医療学講座)
- 若手医師が勤務する医師不足医療機関への指導医派遣
 - 医師不足医療機関への支援(緊急的診療応援)
 - 地域医療機関医師適正配置検討委員会の運営
 - 遠隔医療支援システムの運用
 - 遠隔医療の推進
- 医師のキャリア形成支援・
地域医療従事医師の養成
- 地域医療枠、県民医療枠新入生説明会及び県庁訪問の実施
 - 地域医療枠、県民医療枠学生対象セミナーの実施
 - 地域医療枠、県民医療枠便覧及びキャリア形成プログラム冊子の作成
 - 地域医療枠、県民医療枠6年生進路面談及び知事表敬訪問の実施
 - 夏季合同研修
 - 地域医療枠学生：自治医科大学及び近畿大学医学部和歌山県地域枠学生との合同研修を実施
 - 県民医療枠学生：県内中核病院見学及び県民医療枠研修を実施
 - 地域病院実習(6年生)の支援
 - 三重大学、奈良県立医科大学合同による紀伊半島地域医療連絡協議会への参加
 - A H A-B L Sヘルスケアプロバイダーコース講習会の開催
 - J M E C C(内科救急・I C L S)講習会の開催
 - 地域医療枠、県民医療枠医師対象ヒアリングの実施及びキャリア形成計画の作成
 - 医師臨床研修指導医講習会の開催
 - スキルスラボの充実
 - 家庭医療専門医(総合診療専門医)後期研修プログラムの運用
 - プライマリ・ケアセミナー及び勉強会の開催
 - 和歌山研修ネットワーク事務局の運営
- 情報発信と相談への対応
- 和歌山県内専門研修プログラム合同説明会の開催
 - 高校訪問による和歌山県立医科大学医学部募集枠説明会の実施
 - 県内医療機関に就業を希望する医師に対する斡旋・相談の実施
 - 医学部オープンキャンパスでの地域医療に対する情報発信の実施
 - 出前授業及び地域医療学講義の実施
 - 地域医療支援センターパンフレットの作成
 - ホームページ、Facebookの運用
- 運営委員会
- 運営委員会の開催

年間スケジュール

4月

AHA-BLSヘルスケアプロバイダーコース



地域医療枠・県民医療枠 新入生説明会



地域医療枠セミナー



5月

県民医療枠セミナー



第1回JMECC(内科救急・ICLS)講習会



6月

和歌山地域医療マネジメント研究会





9月



10月

第1回プライマリ・ケアセミナー



11月

県民医療枠研修



12月

医師臨床研修指導医講習会





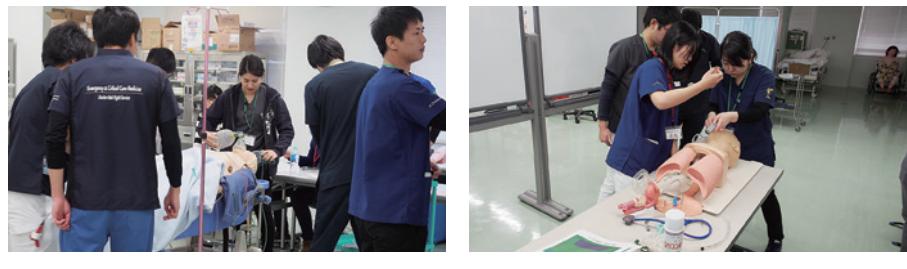
1月

第2回プライマリ・ケアセミナー



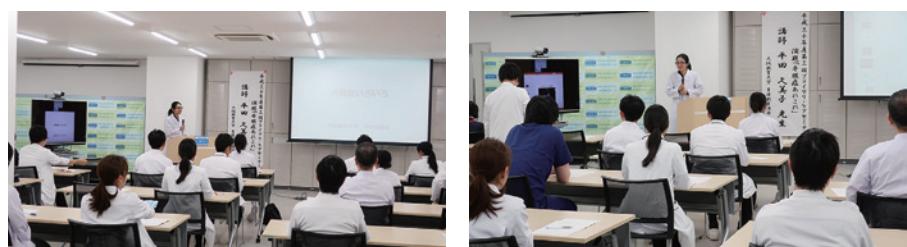
2月

第2回JMECC(内科救急・ICLS) 講習会



3月

第3回プライマリ・ケアセミナー



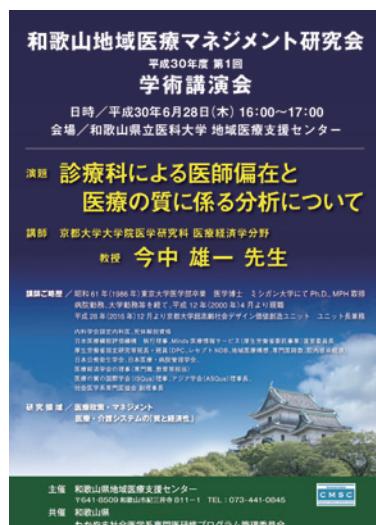
医師不足状況等の把握・分析

和歌山地域医療マネジメント研究会

平成25年度に立ち上げ、医師や医療行政を担当する方、病院運営に携わる方など様々な職種の方々と一緒に和歌山県の地域医療に関する問題点や課題について考えることを目的として、学術講演会を開催した。

平成30年度については、平成30年6月28日（木）に京都大学大学院医学研究科医療経済学分野 教授 今中 雄一 先生を講師として迎え、「診療科による医師偏在と医療の質に係る分析」という演題でご講演いただき、県内医療機関及び行政関係者等40名が聴講された。

また平成30年11月22日（木）に、国立長寿医療研究センターより病院長 荒井 秀典先生を講師として迎え、「健康寿命延伸に向けたフレイルの学術・政策的意義を考える」という演題でご講演いただき、県内医療機関及び行政関係者等200名が聴講された。



医師不足医療機関の支援 緊急時医師派遣・若手医師支援

地域医療枠・県民医療枠医師配置

へき地医療拠点病院を中心に研修を行う「地域医療枠医師」、地域中核病院での研修を行う「県民医療枠医師」の配置状況は別図のとおり。

なお、地域医療枠医師及び県民医療枠医師の1期生は医師5年目となり、今後も県内医療機関で活躍する医師が増加する予定。

医師配置状況

保健医療圏	地域医療枠	県民医療枠	合計
和歌山（和歌山市）		7	7
和歌山（海南市、紀美野町）	3	4	7
那賀		2	2
橋本	1	3	4
有田		2	2
御坊	2	1	3
田辺	5	4	9
新宮	3	2	5
合 計		39	

学生数（参考）

区分	地域医療枠	県民医療枠	合計
医学部1年生	9	23	32
医学部2年生	10	22	32
医学部3年生	5	32	37
医学部4年生	7	20	27
医学部5年生	9	22	31
医学部6年生	7	24	31
合計	47	143	190

地域医療学講座・医師配置

和歌山県立医科大学の医師（指導医）が自治医科大学や地域医療枠等を卒業した若手医師が勤務する医師不足医療機関にローテーションで出向する仕組みを運用し、指導医は出向先である当該医療機関で勤務して地域医療の充実に貢献するとともに、同じく勤務する若手医師の指導を行った。

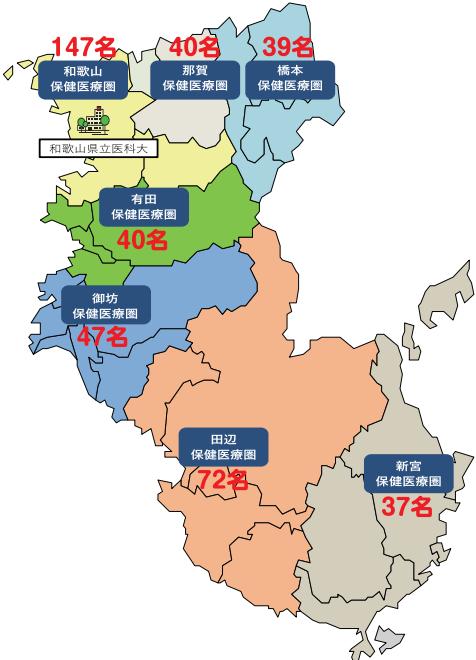
● 緊急時医師派遣・若手医師支援 (地域医療学講座による指導医の配置)

有田市立病院内科 2名
那智勝浦町立温泉病院内科 1名
新宮市立医療センター内科 1名

● 医師配置状況（平成29年4月1日現在）

県内公的病院等 422名（右図のとおり）

県内公的病院等への医師配置状況

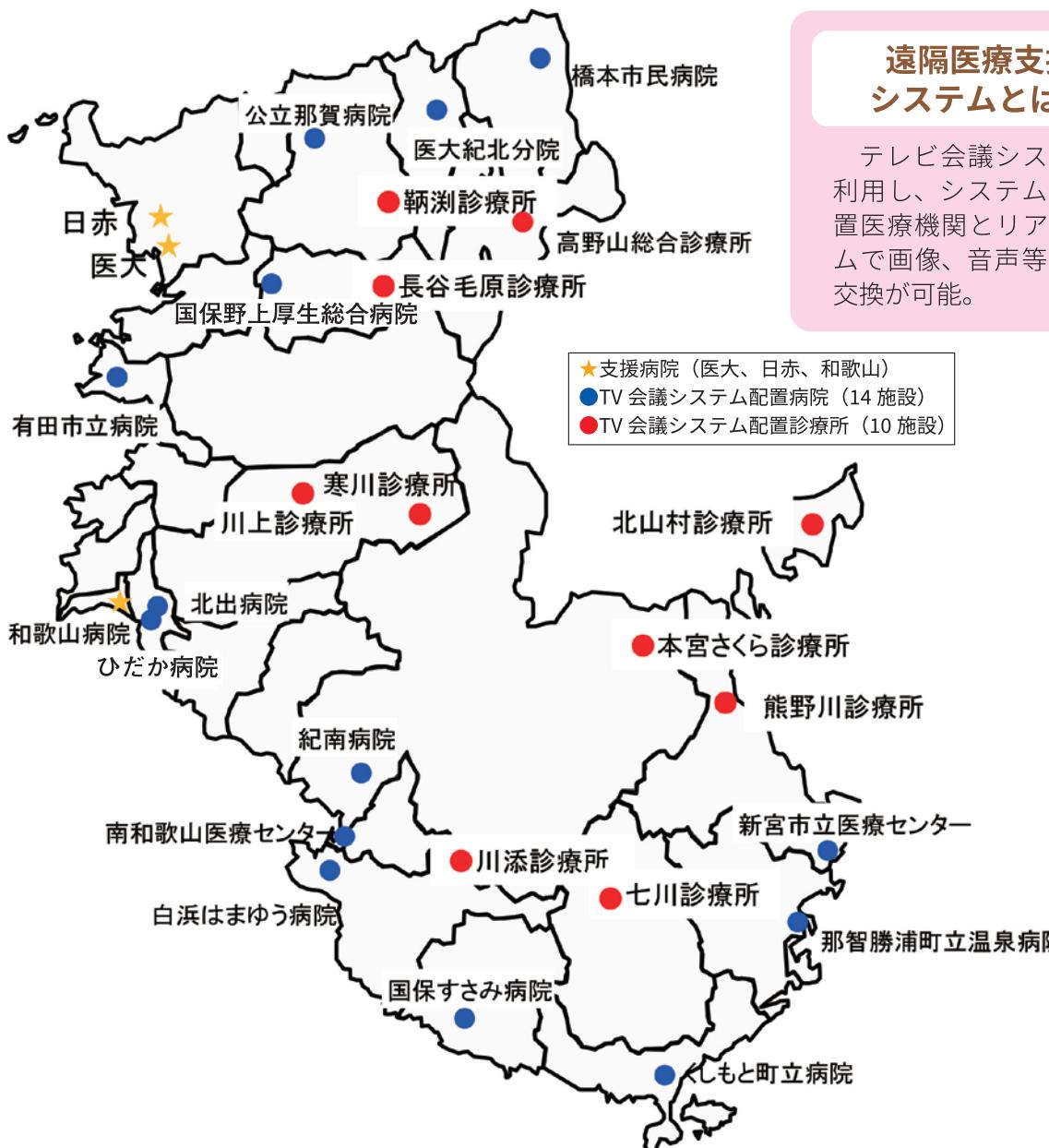


地域医療機関医師適正配置検討委員会

地域医療機関からの新規の常勤医師紹介要請に対して、支援の必要性について審議する「地域医療機関医師適正配置検討委員会（平成25年設置）」を学内に設け、大学として一元的に対応した。

遠隔医療支援システム

へき地診療所等に遠隔医療支援システム端末を設置し、遠隔外来支援、遠隔講義聴講を実施することにより、勤務医師の診療支援及び地域医療枠医師等のキャリア形成を支援した。



- 平成25年度末までに本学と県内13公的医療機関にシステム端末を設置
 - 平成27年度末には、平成28年度から地域医療枠医師が勤務する紀南病院を含め、新たに3医療機関にシステム端末を設置
 - 平成29年度末には、新たに6医療機関にシステム端末を設置
 - 平成30年度末には、新たに4医療機関にシステム端末を設置

遠隔医療支援 システムとは？

テレビ会議システムを利用し、システム端末設置医療機関とリアルタイムで画像、音声等の情報交換が可能。



遠隔外来

和歌山県立医科大学から遠い地域に住む県民が地元の医療機関で和歌山県立医科大学附属病院の専門医のアドバイスを受けることが可能となる遠隔外来を実施した。

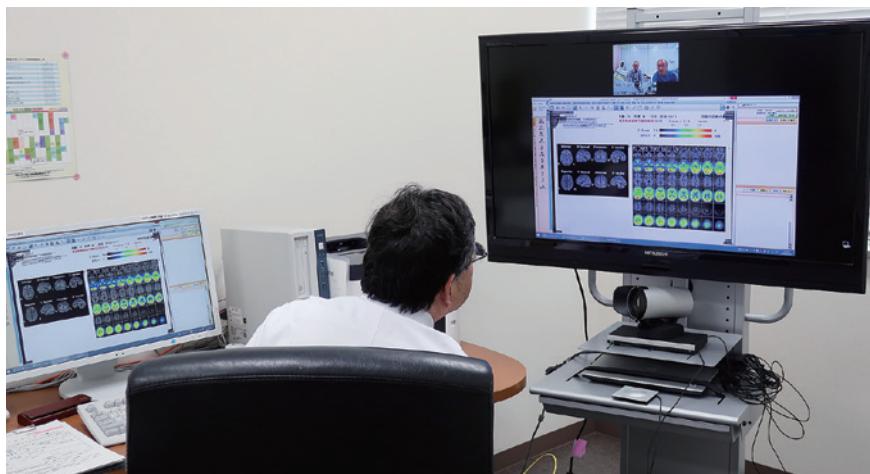
平成30年度は、実施枠を19診療科35専門外来に拡大した。



- システム端末設置医療機関との協定の締結や和歌山県立医科大学における実施診療科の選定等を経て、平成26年7月11日から実施している。

● 平成30年度実績（計67件）

消化器内科	1 件	神経精神科	16 件	脳神経外科	1 件
循環器内科	5 件	呼吸器外科	1 件	皮膚科	31 件
脳神経内科	2 件	脾臓外科	1 件	麻酔科	1 件
リウマチ・膠原病科	3 件	食道外科	1 件	病態栄養治療部	(栄養指導) 4 件



- 遠隔外来広報チラシ及びポスターを作成し関係者へ配付とともに、ホームページや病院広報誌「まんだらげ」及び県民の友を通じて、県民への周知を図った。
- システム端末設置医療機関を訪問し、医師や関係職員に対して利用方法等について個別説明を実施した。



遠隔講義聴講

地域医療枠医師が地域の医療機関での勤務を開始したことに対応し、和歌山県立医科大学まで来ることなく勉強会に参加できるように遠隔医療支援システムによる配信を月1回定例的に実施した。

また、和歌山県立医科大学で開催される講演会やセミナー等をシステム端末設置医療機関の希望に応じて配信するなど、最新の医療情報等をより広く早く伝えることにより、地域医療を支援した。

- 平成28年度より当センター主催の「プライマリ・ケア勉強会（医師向け）」の配信を開始（受講できなかった医師のために録画も実施）
- 地域医療枠医師や自治医科大学卒業医師が自主的に実施する勉強会でも活用
- 平成27年度から継続して、和歌山県立医科大学臨床研究センター主催の「臨床研究セミナー」の配信や和歌山県立医科大学附属病院内の研修会や検討会の配信等で利用
- 平成30年度は21医療機関が利用



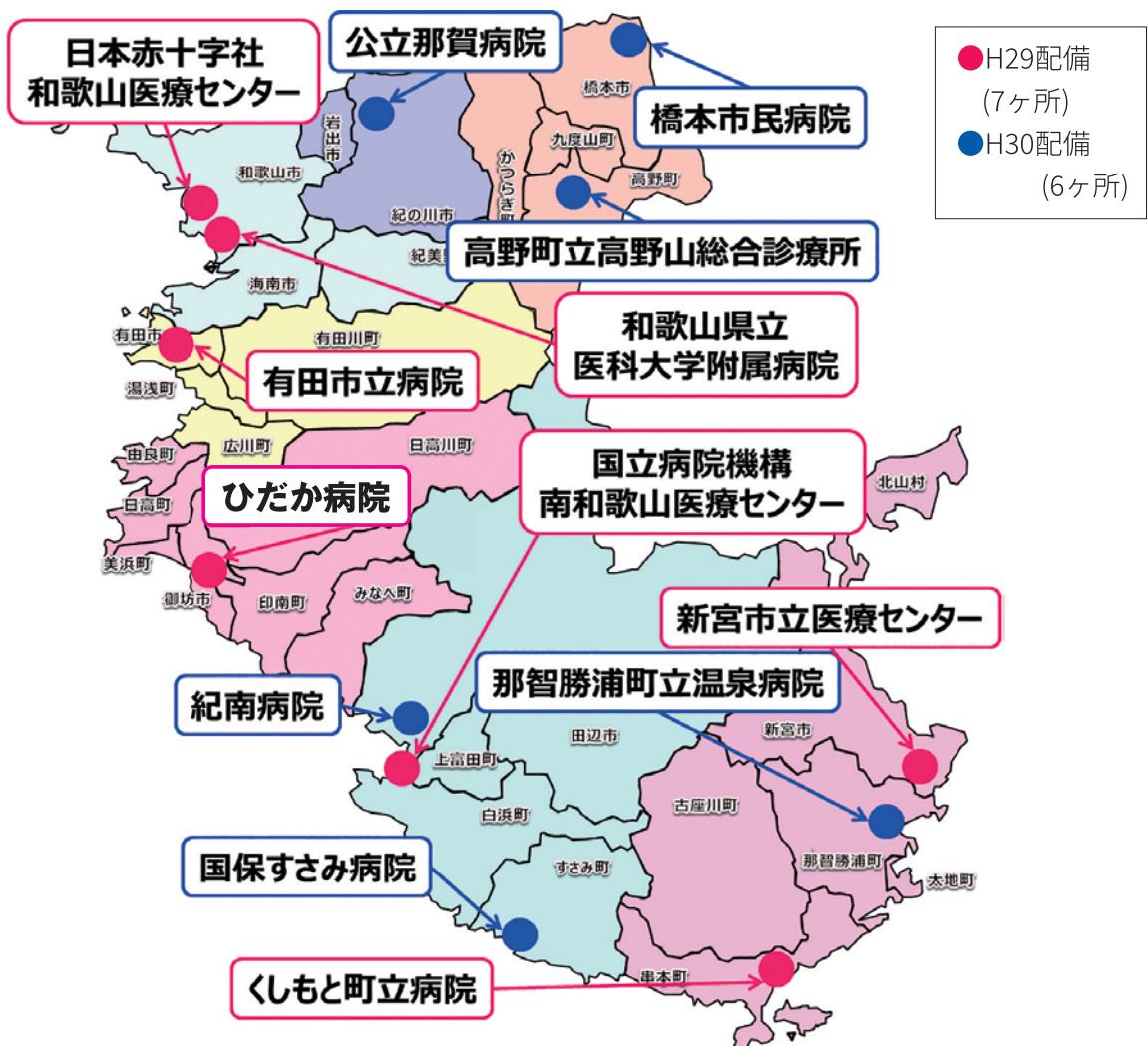
和歌山県遠隔医療推進協議会

和歌山県内における遠隔医療支援体制を構築し、円滑な運用を推進することを目的とする県遠隔医療推進協議会の各種施策の実施に協力した。

携帯端末を利用した検査画像等の患者情報の共有により、不要不急の三次病院への転送を防止するとともに、三次病院における手術等の受入態勢を迅速に整えることを目的として、遠隔救急支援システム（Join）を県内13医療機関へ導入した。

平成29年度より実施している、和歌山県・和歌山県立医科大学・NTTドコモによる5G（第5世代移動通信システム）を活用した遠隔医療分野における実証試験にも協力した。

遠隔救急支援システム配備先（13病院）





5 G(次世代の移動通信システム) 実証試験

平成29年6月に株式会社NTTドコモと和歌山県及び本学で締結した協定に基づき、昨年度より遠隔医療支援システムを用いた5G実証試験に協力している。

平成30年度は、山間部の診療所を患者宅と見立て、本学と5Gを含めた高速通信ネットワークで接続し、往診の場面において、高精細映像を活用した遠隔診療を行うための実証試験を行った。また、若手医師のキャリア形成支援を目的とした遠隔教育の実証試験も併せて行った。

5Gの超高速通信により、問診用の4Kモニター、診断用の4K接写カメラ映像や超音波映像診断装置（エコー）等の医療機器の映像をリアルタイムに伝送することで、今後実用化されると、遠隔診療サービスの高度化や医師の負担軽減につながると思われる。

平成29年11月16日（木）～11月17日（金）

5Gで映像を伝送する試験を本学内で実施した。高精細な映像（4K）を本学の医師等に体感してもらうとともに、医療分野における今後の利活用方法について多くの意見を収集した。

平成30年1月18日（木）～1月24日（水）

NTTドコモ本社（東京）と本学との間でデモンストレーションを実施した。遠隔医療を含めて、多数の政府・民間企業の要人等が視察を行った。

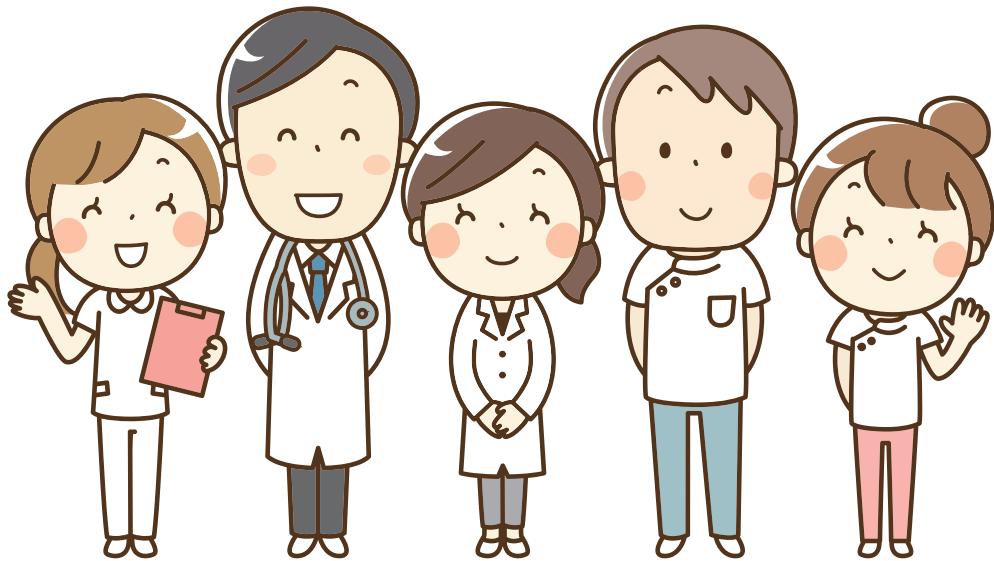
平成30年2月20日（火）～3月6日（火）

日高川町国保川上診療所と本学の間において、5Gで映像を伝送する実証試験を実施した。

実際の外来診療場面を活用した試験は全国初で、今回の試験では川上診療所がある保健福祉センター2階に5G端末を設置して約200m先にある5G基地局との間を無線でつなぎ、高精細な映像（4K）をリアルタイムに伝送した。

平成31年1月21日（月）～1月25日（金）

日高川町国保川上診療所を患者宅に見立て、本学と5Gでつなぎ、往診における遠隔診療について実証試験を実施した。また、本学の指導医による、へき地等で働く若手医師の指導を目的とし、内視鏡カメラの操作方法について、遠隔教育として活用できるかどうかの試験も併せて実施した。



医師のキャリア形成支援 地域医療従事医師の養成

AHA-BLSヘルスケアプロバイダーコース

和歌山県内の臨床研修病院で採用された研修医を一堂に集め、研修医の交流と心肺蘇生の確実な実技取得を目的に講習会を開催した。

平成30年度については、平成30年4月6日（金）に開催し、成人及び小児・乳児の心肺蘇生に対する初期対応を身につけるため、AED（自動体外除細動器）を用いた心肺蘇生法（CPR）や窒息の解除方法などを学ぶ1日コースとして実施した。

講習会には、和歌山県立医科大学附属病院、日本赤十字社和歌山医療センター、紀南病院、和歌山ろうさい病院、橋本市民病院、和歌山生協病院、ひだか病院から新規採用臨床研修医（医師及び歯科医師）合計115名が受講し、全員が修了してヘルスケアプロバイダー資格を取得した。





新入生説明会

平成30年5月21日（月）、新入生を対象に、地域医療枠・県民医療枠の説明会を開催した。それぞれの募集枠の趣旨を新入生に詳しく説明・再認識を促すとともに、卒前卒後のキャリア形成支援や研修・制度等について説明した。



地域医療枠

プライマリ・ケアを実践し、高い総合的能力を有する医師及び医師研究者を育てる。

和歌山県から修学資金が貸与される募集枠で、卒業後9年間のうち、5年間はへき地医療拠点病院等を中心に研修を行う。

県民医療枠

和歌山県の地域医療に携わるとともに、医療・医学のリーダーとして活躍できる人材を育てる。

卒業後9年間の期間中、地域の中核的役割を果たす県内公的病院で研修を行う。



JMECC(内科救急・ICLS) 講習会

平成30年6月23日（土）及び平成31年2月2日（土）、卒業後3年目以降順次地域の医療機関で勤務を開始することになる地域医療枠及び県民医療枠医師等の能力向上を図るため、主に研修医2年目を対象として講習会を開催した。

「ICLS」を基礎に「内科救急」をプログラムに導入した講習会で、内科医養成の一環として取り組んだ。

第1回JMECC(内科救急・ICLS) 講習会 平成30年6月23日（土）



第2回JMECC(内科救急・ICLS) 講習会 平成31年2月2日（土）





地域医療枠セミナー

平成30年5月21日（月）、地域医療枠1～4年生を対象にセミナーを開催し、山野副センター長による講演会及び夏季合同研修の説明を実施するとともに、学生の研修先を決定した。参加者26名





和歌山県副知事表敬訪問

平成30年8月7日（火）、地域医療枠及び県民医療枠6年生が卒業後9年間の和歌山県内の研修に入るにあたり、和歌山県庁を訪問し、下副知事から激励を受けた。



病院見学（県民医療枠）

県民医療枠の学生が、卒業後に勤務する県内公的医療機関を見学した。

平成30年度見学先（県民医療枠4年生、見学希望者 計18名）

・公立那賀病院	4名	・和歌山ろうさい病院	1名
・海南医療センター	8名	・和歌山病院	2名
・紀南病院	2名	・紀南こころの医療センター	1名
・南和歌山医療センター	2名		





夏季合同研修（地域医療枠）の実施

平成30年7月24日（火）から8月24日（金）まで、地域医療枠及び和歌山県出身の自治医科大学及び近畿大学和歌山県地域枠の学生が合同で、県内へき地等の医療現場や保健所及び県外の医療現場で研修・見学を行い、地域医療の魅力や特性を理解し、地域医療に従事する医師の役割及び責任についての認識を深めた。

平成30年8月17日（金）には、本学福利厚生棟において3大学合同で交流会を実施し、学生間だけではなく、本学医学部地域医療枠出身の先生方とも交流し、先輩方から貴重な話を聞くことにより医師としての将来像についても考えを深めた。

参加者

和歌山県立医科大学地域医療枠1～5年生……36名
和歌山県出身自治医科大学1～5年生……………9名
近畿大学和歌山県地域枠1・5年生……………4名

研修先

地域医療枠1・2年生・・・保健所研修

（和歌山市保健所、岩出保健所、湯浅保健所、御坊保健所、田辺保健所、新宮保健所）

地域医療枠3～5年生、自治医大1～5年生、近大1・5年生

・・・病院、診療所研修

（高野山総合診療所、国保野上厚生総合病院、有田市立病院、
日高川町国民健康保険川上・寒川診療所、白浜はまゆう病院、
国保すさみ病院、古座川町国民健康保険七川診療所、
那智勝浦町立温泉病院、国保北山村診療所、和歌山県立医科大学附属病院、
下関市立豊田中央病院、自治医科大学附属病院）





和歌山県内専門研修プログラム合同説明会

平成30年7月28日（土）、平成31年度より専門研修を開始予定の初期研修医を対象に「和歌山県内専門研修プログラム合同説明会」を開催し、県内の医療機関が作成する専門研修プログラムの周知を図った。参加者21名。

全体説明及び質疑応答等のあと、プログラム単位で設置したブース（個室）において、個別相談も行った。

出展病院

● 和歌山県立医科大学附属病院

内科、小児科、皮膚科、精神科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理、救急科、形成外科、リハビリテーション科、総合診療

● 日本赤十字社和歌山医療センター

(内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、放射線科、麻酔科、救急科)

● 和歌山生協病院

(総合診療)

平成30年度
和歌山県内
専門研修プログラム
合同説明会
開催案内

平成31年度より
専門研修を
開始予定の方のご参加を
お待ちしています！

日時 平成30年7月28日 土 13:30～17:00(予定)
第1部 13:30～開会・全体説明
第2部 14:00～個別説明・相談
※事前申込みが必要です

場所 和歌山県立医科大学紀三井寺キャンパス(和歌山市紀三井寺811-1)
高度医療人育成センター棟4、5階
尚田は、5階大講堂(実技)までお越しください。

出展病院
和歌山県立医科大学附属病院
和歌山生協病院

出展プログラムは各ブースを用意していますので、全体説明の後、自由に相談が可能です。
主催：和歌山県地域医療支援センター
問い合わせ先 TEL. 073-441-0845





キャリア形成計画（ヒアリング）

地域医療枠及び県民医療枠学生及び医師のキャリア形成支援の一環として、県の委託を受けて面談・ヒアリングを実施した。

- 平成30年4月～6月に地域医療枠医師に対してヒアリングを実施

地域医療枠医師勤務先　： 国保野上厚生総合病院
(センター教職員訪問先) ひだか病院
橋本市民病院
紀南病院
那智勝浦町立温泉病院
新宮市立医療センター

- 同7月に地域医療枠及び県民医療枠6年生に対して卒業後の進路に関する面談を実施とともに、6年生以外にも必要に応じて随時実施
- 同11月に地域医療枠医師に対してヒアリングを実施とともに、和歌山県・地域医療支援センター・地域医療枠医師との交流会を開催した。
- 同12月に県民医療枠医師に対して、所属する診療科長に、個人毎のキャリア形成計画（卒業後3年目以降の勤務先病院）の作成を依頼・更新
- このほか、県民医療枠学生及び医師に関する個別事案への対応手順を定め、入学時に誓約している卒業後9年間のキャリア形成を本学及び地域中核病院で行うこと等に関して、義務の猶予等の申し出等があった場合、適切に対応できる体制を構築・運用





紀伊半島地域医療連絡協議会

三重大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学の初期臨床研修医、教員等が一堂に会し、紀伊半島の地域医療、特にべき地医療について協議することにより、連携体制を構築するとともに、地域医療に貢献する医療人を育成することを目的として毎年輪番制で開催しており、平成30年度については和歌山県において開催された。

平成30年10月13日（土）、地域医療枠医師（研修医）及び自治医科大学卒業医師（研修医）と共に参加し、三重県及び奈良県の大学・行政関係者と意見交換等を行った。参加者42名。

1日目

10：30～ 青洲の里にて開会式

春林軒・展示室自由見学

14：00～ ①コーディネーター会議

【テーマ】新専門医制度に対する県としての取り組み

②グループワーク

【テーマ】医学教育

15：40～ 講演会①「地域枠学生の夏季地域実習のあり方について」

講師 地域医療支援センター副センター長 山野 貴司 先生

講演会②「医学教育モデル・コア・カリキュラムと初期臨床研修について」

講師 教育開発研究センター長 村田 顕也 先生





県民医療枠セミナー

平成30年5月21日（月）、和歌山県福祉保健部健康局医務課 今西 宏行 課長より、「和歌山県の施策と地域医療」についてご講演いただいた。また、県民医療枠4年生を対象に、病院見学説明会を実施した。参加者95名。

講演会



和歌山県の人口動態 NO.1

○和歌山県の人口は1983年の1,090千人をピークに減少

年	1983年	1984年	1985年	1986年	1987年	1988年	1989年	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年
総人口	1,090	1,043	1,007	1,074	1,074	1,062	1,062	1,054	1,054	1,054	1,054	1,054

・1995年頃を境に死亡者数が出生者数を上回り、自然減の状態が続く
・1990年代前半を除き、転出者が転入者を上回る一貫して社会減

和歌山県長期総合計画 (2017~2026)

○このまま何も対策を講じなければ…
・2060年には50万人程度まで縮減
・65歳以上の人口が42%まで推移し、高齢者1人を現役世代2人に支える人口利用に

○あるべき将来人口
「高齢者1人を現役世代2人に支える人口目標」を達成するため、2060年に人口70万人を確保

和歌山県長期総合計画 (2017~2026)

○めぐす施策
I. ひと を育む
II. しごと を創る
III. いのち を守る
IV. くらし やすさを つくる
V. 地域 を創る

病院見学説明会





医師臨床研修指導医講習会

平成30年12月1日（土）、2日（日）、初期臨床研修医を指導する指導医を養成するとともに、臨床研修指導医の資質向上及び臨床研修を行う病院における適切な指導体制の確保に資するため、和歌山県内の病院に勤務する医師を対象とした医師臨床研修指導医講習会を開催した。

筑波大学地域医療教育学、同附属病院 総合臨床教育センター・総合診療科 教授・部長 前野 哲博 先生を主催責任者に迎え、厚生労働省が定める「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に則った講習会として実施した。

講習内容は、「研修指導で困っていること（KJ法）」、「医師臨床研修制度の理念と概要」、「研修医のプロフェッショナリズム教育」、「安全で効果的な臨床技能教育」、「指導医に求められる役割」、「研修医のメンタルヘルスケア」、「忙しい臨床現場でのフィードバック技法」、「効果的なカンファレンスの進め方」、「眠くならないミニレクチャー」等であり、講義やグループワークを交え、2日間で合計16時間の講習を47名が修了した。





県民医療枠研修

平成30年11月17日（土）、県民医療研修として県民医療枠1～3年生が、和歌山県民文化会館で開催された第38回日本川崎病学会・学術集会に参加した。内容は、川崎病を究める—病因・急性期治療・遠隔期管理の諸問題—で、計6名が参加した。





プライマリ・ケアセミナー

総合的な診療能力を有する医師に必要となる知識や技能を学ぶとともに、総合診療についてより理解を深めることを目的とし、総合診療に携わる指導医、総合診療に興味のある学生及び研修医等を対象にプライマリ・ケアセミナーを開催した。

平成30年度については3回開催し、合計71名が参加した。

平成30年度 プライマリ・ケアセミナー

地域医療における総合診療

講師：見坂 恒明 先生

日時：平成30年10月6日(土) 16:00～17:30(予定)
会場：和歌山県立医科大学附属病院東棟3階
料金：上野 順己
主催：和歌山県立医科大学地域医療支援センター

主催：和歌山県立医科大学地域医療支援センター
TEL: 073-441-0845

第1回 平成30年10月6日(土) 参加者 19名

テーマ：地域医療における総合診療

講 師：神戸大学大学院医学研究科 地域社会医学・健康科学講座

医学教育学分野 地域医療支援学部門 特命教授／

兵庫県立柏原病院 地域医療教育センター センター長 見坂 恒明 先生



平成30年度 プライマリ・ケアセミナー

PTLS講習会

講師：箕輪 良行 先生

日時：平成31年1月19日(土) 8:30～18:00(予定)
会場：紀三井寺キャンパス(和歌山県紀三井寺町1-1-1)
料金：高専医師人育成センター料金

主催：和歌山県立医科大学地域医療支援センター
TEL: 073-441-0845

第2回 平成31年1月19日(土) 参加者 20名

テーマ：PTLS (Primary-care Trauma Life Support) 講習会

講 師：医療法人財団 健和会 みさと健和病院 箕輪 良行 先生



平成30年度 プライマリ・ケアセミナー

弁膜症あれこれ

講師：平田 久美子 先生

日時：平成31年2月26日(火) 18:00～19:00(予定)
会場：和歌山県立医科大学附属病院東棟3階
料金：高専医師人育成センター料金

主催：和歌山県立医科大学地域医療支援センター
TEL: 073-441-0845

第3回 平成31年2月26日(火) 参加者 32名

テーマ：弁膜症あれこれ

講 師：大阪教育大学 養護教育講座 教授 平田 久美子 先生





プライマリ・ケア勉強会

主に地域医療枠医師及び自治医科大学卒業医師を対象として、「プライマリ・ケア勉強会」を開催した。平成30年度は合計10回実施した。

第1回

平成30年4月23日

講師：循環器内科 山野 貴司 先生

第6回

平成30年10月22日

講師：リウマチ・膠原病科

藏本 伸也 先生

第2回

平成30年5月28日

講師：血液内科 蒸野 寿紀 先生

第7回

平成30年11月26日

講師：腎臓内科 山本 僥人 先生

第3回

平成30年6月25日

講師：救急科 宮本 恭平 先生

第8回

平成31年1月28日

講師：脳神経内科 安井 昌彰 先生

第4回

平成30年7月23日

講師：呼吸器内科・腫瘍内科
早田 敦志 先生

第9回

平成31年2月25日

講師：糖尿病・内分泌・代謝内科
松野 正平 先生

第5回

平成30年8月27日

講師：紀北分院内科 廣西 昌也 先生

第10回

平成31年3月18日

講師：消化器内科 田村 崇 先生



WING（自主勉強会）

卒後1～9年目の地域医療枠医師及び自治医科大学卒業医師を対象とした自主勉強会を月1回実施し、遠隔医療支援システムを利用して配信を行った。



和歌山研修ネットワーク事務局の運営

“和歌山研修ネットワーク”とは、和歌山県内9つ全ての基幹型臨床研修病院（大学病院を含む。）が相互に協力型病院となることにより、病院や診療科の選択肢を広げた臨床研修プログラムであり、当センターで事務局運営を実施し、研修医受入可能人数等を照会するなどネットワークを円滑に運用した。

平成30年度の利用件数は228件（月単位で利用件数を集計）



選択制臨床実習の支援及びスキルスラボの充実

選択制臨床実習の期間に本学医学部6年生が地域の病院で行う実習の支援や若手医師が手技等を練習する場所であるスキルスラボの充実を図った。





情報発信と相談への対応

高校訪問

和歌山県立医科大学医学部に入学実績のある県内の高校 11 校を訪問し、高校生及び進路指導担当教員等 228 名に対し、和歌山県立医科大学医学部募集枠について説明を行った。

生徒からは、「一般枠と県民医療枠で大学にいる間にカリキュラムの差はないのか。」「地域医療枠で入学した場合、研修病院を自分で選ぶことは出来るのか。」「地域医療枠として夏季保健所研修以外に地域と関わりはあるのか。」「地域医療枠・県民医療枠の義務年限後、大学に戻りにくいということはないか。」「留学するタイミングはいつか。」等の質問や、「どういったキャリアを形成したいかよく考えて枠を選ぼうと思う。」「カリキュラムを具体的に知ることができ今後の具体的な進路を決めるのに参考になった。」等の感想があった。

・平成30年5月21日（月）	近畿大学附属和歌山高等学校	受講者：34名
・平成30年5月30日（水）	近畿大学附属新宮高等学校	受講者：9名
・平成30年6月12日（火）	和歌山県立桐蔭高等学校	受講者：43名
・平成30年6月18日（月）	和歌山県立新宮高等学校	受講者：13名
・平成30年6月19日（火）	智辯学園和歌山高等学校	受講者：25名
・平成30年6月20日（水）	開智高等学校	受講者：25名
・平成30年6月22日（金）	和歌山県立田辺高等学校	受講者：16名
・平成30年7月4日（水）	和歌山県立日高高等学校	受講者：17名
・平成30年7月12日（木）	和歌山県立向陽高等学校	受講者：7名
・平成30年7月12日（木）	和歌山信愛高等学校	受講者：28名
・平成30年7月17日（火）	和歌山県立橋本高等学校	受講者：11名





オープンキャンパス

平成30年8月18日（土）、地域医療への関心を深めてもらうため、和歌山県立医科大学医学部オープンキャンパスに参加した。

平成30年度の医学部オープンキャンパスには、252名の高校生が参加し、上野センター長が「和歌山の医療の現状」について説明した。また、福利厚生棟1階において、山野副センター長が「地域医療枠・県民医療枠」について説明を行い、92名が参加した。





出前授業

和歌山県内の小学校、中学校及び高等学校からの希望に応じ、教員が直接出向く「出前授業」に参加した。

平成30年7月19日（木）には、地域医療を学ぶ一環で来訪した和歌山信愛高等学校の生徒に対し、講義等を実施した。



地域医療学講義

和歌山県立医科大学医学部2～4年生には、「地域医療学」の講義やグループワークを実施した。





報告書等の作成

地域医療支援センター活動報告書、地域医療支援センターパンフレット、地域医療枠便覧、県民医療枠便覧、夏季合同研修報告書、夏季病院見学実習報告書、遠隔外来広報チラシ及びポスター等を作成した。



ホームページ・Facebook の運用

地域医療支援センターホームページやFacebookを通じて、随時活動状況を発信した。
また、ホームページの更新を行った。



運営委員会

和歌山県地域医療支援センター運営委員会の開催

大学、医療機関、医師会、病院協会、行政機関を含む常設の運営委員会を設置し、平成31年3月13日（水）に開催した委員会で、平成30年度の地域医療支援センターの活動等について報告した。

出席者

和歌山県医師会	上林 雄史郎	副会長
和歌山県病院協会	上野 雄二	会長
紀南病院	阪越 信雄	院長
和歌山県福祉保健部	野尻 孝子	技監
和歌山県保健所長会	松本 政信	会長
和歌山県立医科大学	出口 博之	事務局長





和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1
TEL : 073-441-0845 FAX : 073-441-0846

■ アクセスマップ



■ センター配置図



- JR紀三井寺駅 → 徒歩（約10分）
 - JR和歌山駅 → バス・タクシー
 - 南海和歌山市駅 → バス・タクシー
 - JR和歌山駅前
1番のりば「医大病院」行 約25分
2番のりば「医大病院」行 約30分
 - 南海和歌山市駅前
1番のりば「医大病院」行 約30分
8番のりば「医大病院」行 約30分
9番のりば「医大病院」行 約30分

令和元年11月発行

発行 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター センター長
和歌山県地域医療支援センター センター長

教授 上野 雅巳